

会議資料 沙漠誌分科会平成26年度総会

沙漠誌分科会平成26年度総会

平成26年6月1日（日）12:00-13:00

東京都市大学 横浜キャンパス3号館2階 32B教室

次 第

開 会

会長挨拶（牛木会長）

議 事

1. 平成25年度活動報告・決算報告
2. 平成26年度活動計画(案)・予算(案)
3. その他

閉 会

1. 平成 25 年度沙漠誌分科会活動報告・決算報告

(平成 26 年 3 月 31 日現在, 登録者数: 50 名 (追記: 平成 26 年 6 月 1 日時点で 52 名))

分科会会長: 牛木久雄

連絡先 (事務局): 縄田浩志 〒010-0851 秋田市手形学園町 1-1 秋田大学国際資源学部

Tel: 018-889-3256 (直通), E-mail: nawata@gipc.akita-u.ac.jp

1.1. 組織運営

1.1.1. 総会

平成 25 年 5 月 26 日, 広島大学生物圏科学研究科において沙漠誌分科会平成 25 年度総会を開催した。(1) 平成 23 年度以降の分科会事務局運営組織について, (2) 平成 25 年度以降の沙漠誌分科会運営組織について, (3) 平成 24 年度事業報告・決算報告, (4) 平成 25 年度事業計画(案)・予算(案)等について説明を行った。

1.2. 研究活動

1.2.1. 研究会・シンポジウム

(1) 研究会「乳利用の有無からの牧畜論再考 — 旧・新大陸の対比」を平成 25 年 6 月 22 日に京都大学にて, 京都大学東南アジア研究所・共同利用・共同研究拠点「東南アジア研究の国際共同研究拠点」プログラム「乳利用の有無からの牧畜論再考 — 旧・新大陸の対比」との共催により行った。辻貴志 (国立民族学博物館) 「フィリピン・パラワン島の焼畑農耕民モルボッグの複合的生業における家畜飼養の役割」, 佃麻美 (京都大学大学院) 「アルパカ牧畜における出産と仔の管理」, 中田篤 (北方民族学博物館) 「トナカイ牧畜における乳利用—モンゴルとシベリアの事例から」, 平田昌弘 (帯広畜産大学) 「乳文化を軸とした新しい牧畜類型モデルの検討」と 4 発表の後, 総合討論が行われた。

(2) シンポジウム「中東・北アフリカにおける水資源管理の歴史・文化・社会」を平成 26 年 3 月 7 日に秋田大学にて, 鹿島学術振興財団研究助成「乾燥地域における水資源管理をめぐるイスラーム的合意形成—ナイル川流域とアラビア半島の比較」, 日本学術振興会基盤研究 B 「モノの世界から見た中世イスラームの女性—ガラス器と陶器を中心に」, 総合地球環境学研究所 (以下地球研) プロジェクト「アラブ社会における新しい生態系の研究—ポスト石油時代に向けて」, NIHU プログラム・イスラーム地域研究 早稲田大学拠点との共催により行った。佐藤尚平 (金沢大学) 「乾燥地域における水資源管理についての試論: アブダビの調査報告から」, 吉村武典 (早稲田大学) 「前近代

エジプトにおけるナイル治水と環境」，石本雄大（地球研）「西アフリカ乾燥地域における食料確保のための水管理」，石山俊（地球研）「サハラ・オアシスにおける水供給の変化とナツメヤシ農業」，スコット・モリソン（秋田大学）「イスラーム銀行のコーポレート・ガバナンス」，縄田浩志（秋田大学）「アラブ社会のなりわい生態系と水資源管理」と6発表の後，牛木久雄（沙漠誌分科会），真道洋子（早稲田大学）がコメントした。

1.2.2. 小特集

（1）日本沙漠学会誌 VOL. 23-2（平成25年9月23日発行）に沙漠誌分科会研究会「サヘル地域による旱魃と人間活動の変容」（平成24年12月8日開催）を元に執筆された以下の小特集原著論文が掲載された。「縄田浩志：干ばつに対する現地住民の生態的・社会的・文化的・宗教的応答 - サヘル東端，紅海沿岸ベジャ族における雨乞い儀礼の事例分析から」「石山 俊：不安定な降雨変動下のアフリカ半乾燥地農耕民の多様な生業 - ブルキナファソ北東部，穀物農耕民グルマンチェの事例」「石本雄大・宮寄英寿・瀬戸進一・梅津千恵子・田中 樹：サヘル地域農牧民の食料確保におけるレジリアンス - ブルキナファソ北東部 I 村での出稼ぎ導入の事例 -」「宮寄英寿・石本雄大・瀬戸進一・田中 樹：西アフリカ・サヘル地域における牧畜民と農耕民のかかわりとその変遷 - ブルキナファソ北東部 T 村の事例 -」の4本である。

（2）また次号，日本沙漠学会誌 VOL. 23-3（平成25年12月25日発行）には沙漠誌分科会研究会「モンゴルにおける災害と人間活動の変容」（平成25年4月14日開催）を元に執筆された以下の小特集原著論文が掲載された。「尾崎孝宏：自然環境利用としての土地制度に起因する牧畜戦略の多様性」「中村知子：蓄えられた草と土地 - モンゴル国ドンドゴビ県におけるネグデル時代の草資源利用からみた災害対策 -」の2本である。

1.3. 情報発信

1.3.1. ホームページ

沙漠誌分科会の活動に関して情報発信をするため，平成25年10月30日にホームページの開設を行った。次の URL (<http://sabakushi.com/index.html>) で公開中である。

1.3.2. ニュースレター

沙漠研究に関する研究革新の端緒を生み，また会員の研究意欲を刺激する媒体として「沙漠誌分科会ニュースレター-CALNACS」を創刊し，平成25年10月29日に第1号を刊行した。ニュースレターは，ホームページ内 (<http://sabakushi.com/publish.html>) で公開している。また，第2号を4月9日に刊行した。

1.3.3. メーリングリスト

会員の E-mail アドレスリストが古く、使用できないアドレスが多かったため、再作成を行った。この更新後のリストを元に、研究会等の情報共有を行っている。

1.4. 決算

決算書 (資料 1) 参照

2. 平成 26 年度沙漠誌分科会活動計画

2.1. 組織運営：総会

平成 26 年 6 月 1 日、東京都市大学横浜キャンパス (3 号館 2 階 32B 教室) において沙漠誌分科会平成 26 年度総会を開催。

2.2. 研究活動：シンポジウム、分科会研究会の開催

(1) 一般公開の研究会「日本でのムスリムおよびムスリマの日常生活 (仮)」を平成 26 年度初頭に開催。

(2) 世界の乾燥地における家畜糞利用に関する研究会を平成 26 年中盤に開催。

2.3. 情報発信

HP やニューズレターを活用した情報発信の継続

2.4. 予算 (案)

資料 2 参照

3. その他

・会則訂正

資料 1

平成25年度沙漠誌分科会決算報告

(単位:円)

	費用	執行額	予算額	対予算額増減	摘要
収入の部	前年度繰越金	0	0	-	
	分科会交付金	30,000	30,000	0	
	合計	30,000	30,000	0	
支出の部	会議運営費	0	10,000	10,000	研究会同時通訳謝金 ※研究会がH26年度に延期
	会議出張旅費補助	0	11,885	11,885	通訳者旅費補助 ※研究会がH26年度に延期
	情報発信関連費(1) ※ニュースレター関連	21,570	0	-21,570	ニュースレター編集ソフト 26800(5230超過)
	情報発信関連費(2) ※ホームページ関連	8,430	8,115	-315	HP用サーバレンタル5000, 初期 費用1000, HP用ドメイン1800, 請 求書発行315*2
	合計	30,000	30,000	0	

資料 2

平成26年度沙漠誌分科会予算案

(単位:円)

	費用	予算額	前年度決算額	対前年度額増減	摘要
収入の部	前年度繰越金	0	0	-	
	分科会交付金	30,000	30,000	0	
	合計	30,000	30,000	0	
支出の部	会議運営費	10,685	0	10,685	研究会同時通訳謝金
	会議出張旅費補助	11,885	0	11,885	通訳者旅費補助
	情報発信関連費(1) ※ニュースレター関連	0	21,570	-21,570	ニュースレター編集ソフト 26800(5230超過)
	情報発信関連費(2) ※ホームページ関連	7,430	8,430	-1,000	HP用サーバレンタル 5000, HP用ドメイン 1800, 請求書発行 315*2
	合計	30,000	30,000	0	